

議長に阿部栄悦氏 副議長に須藤正人氏

第1回八峰町議会臨時会を開催



新しいまちづくりへの決意を語る加藤町長

合併後初めての臨時議会が5月15日と16日の2日間、八峰町文化ホール（ファガス）で開催されました。

会議ではまず、議長、副議長を選ぶ単記無記名投票が行われ、その結果、初代議長に阿部栄悦氏（水沢）、副議長に須藤正人氏（岩館）がそれぞれ選ばれました。

その後、加藤町長が「紆余曲折を辿りながらも昨年、八森町と峰浜村の合併を選択してから、様々な議論や調整を経て、3月27日新町をスタートさせたところであります。合併協議で決定された新町建設計画を尊重し、町民の声や議会の皆様の意見、そして

執行者としての考えを肉付けしながら、着実な町政の発展を図ってまいりたい決意であります。」と挨拶しました。

今議会では、条例制定に関する専決処分や平成17年度、平成18年度の一般及び各特別会計暫定予算、条例改正等について計39件の議案が提案され、追加提案された監査委員や教育委員、固定資産評価審査委員の人事案件とともに原案の通り可決されました。

また、各常任委員会や議会運営委員会の委員も決まり、八峰町議会の体制が整いました。



投票により議長、副議長を選出



八峰町議会議長 阿部 栄悦

議長就任にあたって

この度、八峰町の初代議長に選任され、誠に有り難く光栄に存じております。全議員の皆さまに心から敬意と感謝を申し上げますと存じます。

新しいまちづくりにあたって、その基本はなんと言っても八森・峰浜町民の調和であると思います。それは町民同士が仲良くすることであり、相手の意見を尊重しながら、自分の思いも言っていてゆく事だと思えます。

八峰町議会は町民の皆さまに先駆けて、調和の精神を实践していかなければならぬと考えております。町づくりの中心は町長であり、その施策によって町政は動きますが、

私達議員は常に住民の要望をくみながら、それを町政に反映させていかなければなりません。

八峰町は過去50年の間に8千人の人口が減少して過疎になっております。人口が減少すれば町は活力を失います。今後町を発展させてゆくためには、何としても新しい産業開発や地域おこしの知恵が必要です。過疎を嘆くのではなく、どうしたら発展できるか知恵と勇気をふりしぼって前進することが大切だと思います。

今、議会はそのまっただ中であって、臆することなく住民の先頭に立つて邁進すべき時と思えます。町勢発展のために微力ながら議長として精一杯努力してまいりたいと存じます。

可決された主な議案

【条例】

- 八峰町役場の位置に関する条例ほか158件
- 八峰町の区域内の字の名称変更
- 八峰町税条例の一部を改正する条例
- 八峰町介護保険条例の全部を改正する条例

【予算】

- 平成17年度八峰町一般会計暫定予算
総額 14億6,300万円
- 平成18年度八峰町一般会計暫定予算
総額 13億8,606万5千円
- 平成17年度八峰町公共下水道事業特別会計暫定予算
総額 5億4,235万6千円
- 平成18年度八峰町公共下水道事業特別会計暫定予算
総額 3,545万4千円

各常任委員会

【総務常任委員会】

- ・菊地 薫 (委員長) ・丸山あつ子 (副委員長)
- ・芦崎 達美 ・木藤 實 ・阿部 栄悦
- ・須藤 正人

【教育民生常任委員会】

- ・見上 政子 (委員長) ・松岡 清悦 (副委員長)
- ・大山 義昭 ・佐藤 克實 ・柴田 正高

【産業建設常任委員会】

- ・今井 一政 (委員長) ・門脇 直樹 (副委員長)
- ・石塚 正一 ・福司 恵友 ・鈴木 一彦